

ミラノ・クラシカ合奏団&森麻季&千住真理子 イタリア名曲紀行



ミラノ・クラシカ合奏団

ソプラノの森麻季、ヴァイオリンの千住真理子、超人気ソリスト2人をゲストに迎え、弦の故郷・北イタリアからバロックの名手たちが奏でる、イタリア名曲の数々!



森麻季 (ソプラノ)

(C) Yuji Hori

2012
6.23(土)

14:30開場 15:00開演



千住真理子 (ヴァイオリン)

全席指定 S席6,500円/A席5,500円/B席4,500円

※未就学児のご入場は出来ませんので、保育ルーム（要予約）をご利用ください。
※小学生～高校生は学生証の提示で、購入時に3,000円の割引。（購入済みのチケットは無効）

上越文化会館大ホール

主催：上越文化会館 共催：新潟日報社

お問い合わせ 上越文化会館 TEL025-522-8800

（休館日を除く 9:00～17:00）

一般発売 2012年3月17日(土)

上越文化会館 (☎025-522-8800)
アコーレ・サービスカウンター (☎025-521-2502)
上越市市民プラザ (☎025-527-3611)
リージョンプラザ上越 (☎025-544-2122)
多田金レコード店 (☎025-524-2547)
ニ葉楽器 (☎025-523-5655)
マルケー旅行センター・エルマール店 (☎025-543-4120)
ローソンチケット (Lコード:39189)

ミラノ・クラシカ合奏団 & 森麻季 & 千住真理子 イタリア名曲紀行

Program

第Ⅰ部

ヘンデル：オンブラ マイ フ（＊１）
 ヘンデル：「リナルド」よりアリア“涙の流れるままに”（＊１）
 アルビノーニ：アダージョ（＊２）
 ヘンデル：「エジプトのジュリアス・シーザー」よりクレオパトラのアリア
 “つらい運命に涙はあふれ”（＊１）
 ヴィターリ＝千住 明：ヴィタール：シャコンヌ（＊２）
 ヘンデル：オラトリオ「時と悟りの勝利」よりアリア“神によって選ばれた天の使者よ”（＊１）
 ヴィヴァルディ：調和の靈感 第６番（＊２）
 ヴィヴァルディ：モテット“まことの安らぎはこの世になく”RV.630（＊１）
 ----- 休憩 -----

第Ⅱ部

ヴィヴァルディ：「四季」全曲

※（＊１）森麻季 （＊２）千住真理子
 ※都合により変更になる場合があります。

ミラノ・クラシカ合奏団



1993年ミラノを拠点にして活動していた50年の実績をもつアンジェリクム・オーケストラの主要メンバーによって設立された。弦楽中心の室内オーケストラ。バロックの古典から、クラシック、19世紀から近代の作品まで広いレパートリーを誇る。特にバロック音楽の造詣は深く、古楽器の奏法を基本としている。現在の音楽監督はジャンルカ・カプアーノ。ストラディバリ、ガダニーニやガルネリなどの弦楽器の名器を生み出し、長い音楽の伝統を誇る北イタリアを活動の拠点に欧米に広く活躍の領域を広げてきた。バロック時代から受け継がれてきたイタリアの弦楽器のもつ伝統的な明るく美しい響きと音色を特徴としている。

森 麻季

Maki Mori (Soprano)



東京藝術大学、同大学院独唱専攻修了。高丈二氏に師事。文化庁オペラ研修所修了。ミラノとミュンヘンに留学。ドミンゴ世界オペラコンテストを始め、国内外のコンクールで入賞多数。ドミンゴに認められ、ワシントン・ナショナル・オペラでアメリカデビュー以来、ワシントンとロサンゼルス・オペラで「後宮からの逃走」〈リゴレット〉〈バルジファル〉〈ホフマン物語〉〈ウェルテル〉〈こうもり〉をドミンゴ、フオン・シュターデ、アラニーヤ、ジュン・アンダーソン、ブレンデル、ケント・ナガノと共演し絶賛を博す。小澤征爾、チョン・ミュンフンをはじめとする指揮者や内外のオーケストラとの共演も数多く、2005年はアッシュケナージ指揮NHK交響楽団とモーツァルト〈レクイエム〉〈第九〉で共演。NHK大河ドラマ「義経」の紀行テーマ曲を歌う。2006年は、ウィーン・フィルのメンバーやゲヴァントハウス・バッハ・オーケストラとも共演、2007年ドレスデン国立歌劇場〈ばらの騎士〉のゾフィー役でデビューを果たし、高い評価を得た。2009年夏エジンバラ音楽祭でヘンデルのオペラ「リナルド」で絶賛された。2010年5月、トリノ王立歌劇場でプッチーニのオペラ「ラ・ボエーム」のムゼッタ役で大成功を収め、続いて7月同歌劇場の日本公演でも高い評価を得た。

ワシントン・アワード、出光音楽賞、ホテルオークラ賞、ワシントン賞受賞。

オフィシャル・ホームページ <http://www.makimori.com/>

千住 真理子

Mariko Senju (Violin)



2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。NHK朝の連続テレビ小説「ほんまもん」の音楽を兄の千住明氏が担当、千住真理子が演奏し、全国で注目を浴びた。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2003年8月にEMIミュージック・ジャパンより移籍第1弾となるCD「カンタービレ」を発売し、高い評価とセールスを記録。2010年はデビュー35周年を迎えた。2012年には全国でワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団、ミラノ・クラシカ合奏団とツアーを予定している。

著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」（時事通信社、文藝春秋社文春文庫）

「歌って、ヴァイオリンの詩2」母との共著「母と娘の協奏曲」（以上時事通信社）など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ <http://www.marikosenju.com/>